



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年7月26日

上場会社名 株式会社トーメンデバイス 上場取引所 東
 コード番号 2737 U R L <http://www.tomendevices.co.jp/>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）妻木 一郎
 問合せ先責任者 （役職名）常務取締役 管理本部長 （氏名）松本 和幸 T E L 03-3536-9150
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	39,950	31.4	892	13.3	636	15.8	386	19.2
25年3月期第1四半期	30,403	-	788	-	755	-	478	-

（注）包括利益 26年3月期第1四半期 564百万円（23.5%） 25年3月期第1四半期 456百万円（%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	56.84	-
25年3月期第1四半期	70.34	-

（注）25年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は、会計方針の変更に伴い遡及修正が行われたため、記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	50,459	22,918	44.8	3,320.65
25年3月期	43,617	22,690	51.3	3,289.76

（参考）自己資本 26年3月期第1四半期 22,585百万円 25年3月期 22,375百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	0.00	-	50.00	50.00
26年3月期	-	-	-	-	-
26年3月期（予想）	-	0.00	-	30.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	138,000	0.3	1,240	40.5	1,300	33.5	780	34.5	114.68

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照下さい。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 有

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	6,802,000株	25年3月期	6,802,000株
期末自己株式数	26年3月期1Q	381株	25年3月期	381株
期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	6,801,619株	25年3月期1Q	6,801,694株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、当社は年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期連結累計期間の業績予想の記載を省略しております。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2 . サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3 . 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
4 . 補足情報	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、欧州経済は引き続き緩やかに後退し、中国経済についてもはっきりとした回復は確認できておりませんが、米国経済は、堅調な民間需要を背景に、緩やかな回復基調が続いており、全体としては徐々に持ち直しに向かっています。

わが国経済につきましても、公共投資の増加や、為替の円安傾向による輸出増により、緩やかに回復しつつあります。

エレクトロニクス業界におきましては、テレビやPCは引き続き低調であるものの、スマートフォンやタブレット、節電機能に優れた白物家電等に支えられて、全体では底堅く推移しています。しかし、スマートフォン、タブレットにおいては海外メーカーがプレゼンスを高めている等、国内メーカーは苦戦を強いられています。

このような状況下、当社グループは、SSD、DDI（ディスプレイドライバーIC）及びNAND FLASHの拡販と、DRAM価格の上昇も寄与したこともあり、売上高399億50百万円（前年同期比31.4%増）、営業利益8億92百万円（前年同期比13.3%増）、経常利益6億36百万円（前年同期比15.8%減）、四半期純利益3億86百万円（前年同期比19.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、504億59百万円（前連結会計年度末比15.7%増）となりました。これは主に売掛金及び商品が増加したことによるものです。一方、負債は275億40百万円（前連結会計年度末比31.6%増）となりました。これは主に短期借入金の増加によるものです。純資産は229億18百万円（前連結会計年度末比1.0%増）となりました。これは主に四半期純利益の計上と配当金の支払によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、平成25年4月24日に発表いたしました業績予想と変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（重要なヘッジ会計の方法）

従来、為替予約については、振当処理の要件を満たしている場合には振当処理を行っておりましたが、為替リスクの評価及び為替予約に関する管理体制の見直しを行ないましたことを契機として、デリバティブ取引に係る損益をよりの確に表示するため、当第1四半期連結会計期間より原則的な処理方法に変更いたしました。当該会計方針の変更は遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第1四半期連結累計期間の営業利益は58百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ50百万円増加しております。また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は15百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,502	1,311
受取手形及び売掛金	27,502	32,621
商品	9,602	12,145
前渡金	3,490	2,880
繰延税金資産	242	204
その他	376	352
流動資産合計	42,718	49,516
固定資産		
有形固定資産	64	61
無形固定資産	187	172
投資その他の資産	646	708
固定資産合計	899	943
資産合計	43,617	50,459
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,222	8,937
短期借入金	12,189	17,035
未払法人税等	16	100
賞与引当金	108	50
未払金	103	151
その他	999	969
流動負債合計	20,639	27,246
固定負債		
退職給付引当金	249	257
その他	37	37
固定負債合計	286	294
負債合計	20,926	27,540
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,054	2,054
資本剰余金	1,984	1,984
利益剰余金	18,400	18,450
自己株式	0	0
株主資本合計	22,438	22,488
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27	21
繰延ヘッジ損益	136	93
為替換算調整勘定	101	169
その他の包括利益累計額合計	62	97
少数株主持分	315	332
純資産合計	22,690	22,918
負債純資産合計	43,617	50,459

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	30,403	39,950
売上原価	29,040	38,406
売上総利益	1,362	1,544
販売費及び一般管理費	574	651
営業利益	788	892
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	3
仕入割引	81	76
持分法による投資利益	-	17
その他	0	12
営業外収益合計	86	109
営業外費用		
支払利息	19	18
債権売却損	2	3
支払手数料	4	4
為替差損	84	335
その他	6	3
営業外費用合計	118	366
経常利益	755	636
税金等調整前四半期純利益	755	636
法人税等	297	246
少数株主損益調整前四半期純利益	458	389
少数株主利益又は少数株主損失()	20	2
四半期純利益	478	386

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	458	389
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18	48
繰延ヘッジ損益	17	43
為替換算調整勘定	0	83
その他の包括利益合計	1	174
四半期包括利益	456	564
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	483	546
少数株主に係る四半期包括利益	26	17

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

品目別販売実績

品目別	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)		増減率 (%)	前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)		金額(百万円)	構成比 (%)
メモリー	13,979	46.0	23,421	58.6	67.5	70,837	51.5
システムLSI	3,260	10.7	3,521	8.8	8.0	13,031	9.5
半導体小計	17,240	56.7	26,942	67.4	56.3	83,868	61.0
液晶デバイス	9,300	30.6	9,680	24.3	4.1	34,614	25.2
その他	3,862	12.7	3,327	8.3	13.8	19,056	13.8
合計	30,403	100.0	39,950	100.0	31.4	137,539	100.0

(メモリー半導体)

PC、テレビ及びブルーレイレコーダー等のデジタル家電の販売低迷が長期化し、スマートフォンも海外メーカーがプレゼンスを高める等、当社グループにとっては決して良い環境ではありませんでしたが、中国市場でNAND FLASHの販売額を大幅に伸ばし、また、注力商品の一つであるSSDの拡販に努めました。DRAMの価格上昇も寄与し、この分野の売上高は234億21百万円(前年同期比67.5%増)となりました。

(システムLSI)

コンパクト型デジタルカメラの販売不振及び海外メーカーのスマートフォン躍進の影響を受け、ASIC(特定用途向けIC)とCIS(CMOSイメージセンサ)の販売は落ち込みましたが、液晶テレビ向けのDDI(ディスプレイドライバーIC)ビジネスが伸びたため、システムLSIの売上高は35億21百万円(前年同期比8.0%増)となりました。

(液晶デバイス)

デジタルサイネージ用の需要が堅調で、海外向けテレビ、モニター用も受注が増加し、かつ液晶パネル価格も安定化したことから、液晶デバイスの売上高は96億80百万円(前年同期比4.1%増)となりました。

(その他)

海外メーカーの健闘もあり、スマートフォン向け有機ELの販売は伸び悩み、LEDも、テレビ需要の冷え込みから、売上が低迷し、この分野の売上高は33億27百万円(前年同期比13.8%減)となりました。